

# かがやき

「あと1回叩けば壁は壊れるかもしれない。僕は勝ちに行く。」

～ 松岡 修造 (元テニスプレーヤー) ～

令和 4年 1月 13日(木)発行 第37号



## 2022 ～新年の誓いを胸に～



今年の大晦日は冷たい風が吹き、たいへんに寒い年越しとなりました。身の引き締まるような、ぴんとはりつめた空気に包まれた2022年1月1日、新しい年の幕開けに、皆さんは心に何を誓ったでしょうか…。

私ごとになりますが、毎年、元日に行われている社会人の駅伝、「ニューイヤー駅伝大会(全日本実業団対抗駅伝競走大会)」に、今年も教え子が出場しました。彼は大学生の頃には「箱根駅伝」にも出場し、箱根の、あの険しい山をかけ登りました。その勇姿に胸を熱く、テレビに向かって声を出し、応援したものです。大学を卒業してからも、陸上を続け、今もなお、熱い志をもって走り続けています。一年に一度、画面越しに見る彼は、「努力し続けることの尊さと美しさ」を教えてくださいました。今年も力をもらいました。ありがたいことです。



中学時代の彼は、野球部に所属するかたわら、陸上で足腰を鍛えていました。心優しく穏やかで、誰からも好かれるような少年だったと記憶しています。進路選択の際に、自分の特性を考えて、陸上の道を選びました。本来、努力家でしたから、高校で本格的に陸上を始めると、めきめきと力を付けていきました。

中学時代を進む皆さんは、「可能性のかたまり」です。

「こうなりたい」と強く願って歩み続ければ、それはどんどん「本当」になっていきます。

しかし、結果はすぐには出ないことも多く、「この努力に意味はあるのか?」と投げ出したくなったり、自信をなくしてしまったりすることもあるでしょう。

それでも、続けることで見えてくること、挑戦したからこそ手にできるものが、必ずあるはずですよ。

**大丈夫!  
キミなら  
できる!**



元テニスプレーヤーの松岡修造さん(有名なテニスの世界大会、ウインブルドンでベスト8に入ったこともある実力選手でした)の言葉を、紹介します。

「100回叩くと壊れる壁があったとする。でもみんな何回叩けば壊れるかわからないから、90回まで来ても途中であきらめてしまう。」

今、心に抱いている夢に向かって、目を背けずに歩み続けましょう。

「まだ夢が見つからない?」そんな時こそ、目の前にある勉強、部活動、係活動、友人関係…etc、とにかく何にでも、誠実に全力で取り組み続けましょう。

2022年、新しいスタートです!! 新しい気持ちで、頑張れ1年生諸君!!

ここから3月まで  
本当に早いですよ～



### 来週の予定

～学校生活のリズムを取り戻しましょう～

17日(月)	15:50 下校	20日(木)	3年学年末テスト	15:50 下校
18日(火)	15:50 下校	21日(金)	〃	15:20 下校
19日(水)	①②④⑥(短縮)、給食後放課 12:50 下校	～ 3年生の先輩と過ごせるのもあと少しですね ～		